

“絆”きずな

復興特別区域法延長決定を受けて ～岩手県編～

事業所開設から4年が経ちました。宮古・山田地域の復興計画が後3年であることから、当事業所は平成32年3月末までの事業継続が決定しました。これも今まで「ゆずる」を支えてくれたスタッフ一人一人の愛と努力の賜物だと思います。人口減少により医療・介護のマンパワーが不足している中、地域の方々は震災にも台風にも負けず、地域をより良くしようとずっと一生懸命に取り組まれています。私たちはリハビリテーション専門職として、その思いを大切に、尊敬の念を持って多職種の方々と一緒に活動させていただいています。今では地域の一員として、介護予防事業や研修会、飲み会など、気軽に声をかけてくれるようになりました。自分一人ではできる事が限られていますが、連携することで利用者さんの世界が大きく広がっていきます。県内外を問わず、リハビリテーション専門職の可能性を広げたい方、地域を元気にしたい方、岩手県に興味がある方等々、募集しています！

一般財団法人訪問リハビリテーション振興財団 理学療法士 石田英恵
宮古・山田訪問リハビリステーションゆずる 管理者

訪問リハ・地域リーダーの“絆” ご当地紹介②⑦ 奈良県編

奈良県は、セラピスト人口も少なく、まだまだいろんな意味での小さな地域と感じています。小さい地域だからこそ、実務者研修会を機に3土会の代表者が集結し、仲良く笑いあいながら訪問リハ・地域への力になれるように努力している所存です。

もちろんのことセラピストそれぞれ所属が違えど、普段から繋がりも多く、そんな絆のあるチームを少しずつ広げたい一心で地道に活動しています。ただ、3職種合同での公の活動は残念ながらこの実務者研修会のみとなっており、各県土会単位での地域活動が現状です。貴重なこの繋がりからさらなる飛躍をしていきたいです。

奈良県訪問リハ・地域リーダー 作業療法士 谷村 賢司
ナーシングヘルスケア株式会社 訪問看護ステーションうねび

南から始まる訪問リハビリテーションの魅力 in 徳島県

先日、ある利用者様のご葬儀に出席しました。脳梗塞、大腿骨頸部骨折、肺炎等で入退院を繰り返し、20年近く担当させて頂いた方です。自宅に帰られて2週間後、利用者様を担当する複数のスタッフが一巡した後、奥様に看取られ旅立たれました。多くの方が最後まで住み慣れた自宅で暮らしたいと願いながらもまだまだ簡単ではありません。いくらシステムが整っても、在宅医療に携わるスタッフの心構えも大切ではないでしょうか。そっと背中を押してあげる。そんな役割も訪問リハにはあるのだと思います。

「先生、長い間ありがとうね。迷ったけど連れて帰ってよかったわ。この人も喜んでるよ。」ご葬儀の帰り際、奥様に大きなお言葉をいただきました。

徳島県訪問リハ・地域リーダー 理学療法士 東田 武志
医療法人道志社小松島病院

＜お知らせ＞

★平成29年度 第8回 訪問リハ・地域リーダー会議開催について

開催日：平成29年5月19日(金)・20日(土)
会場：タイム24ビル(東京都 江東区 青海 2-4-32)

★訪問リハビリテーションフォーラム2017 開催について

開催日：平成29年5月21日(日)
会場：東京ビックサイト レセプションホールB(東京都 江東区 有明 3-11-1)

※詳細につきましては近日中に訪問リハ振興財団ホームページに掲載いたします。